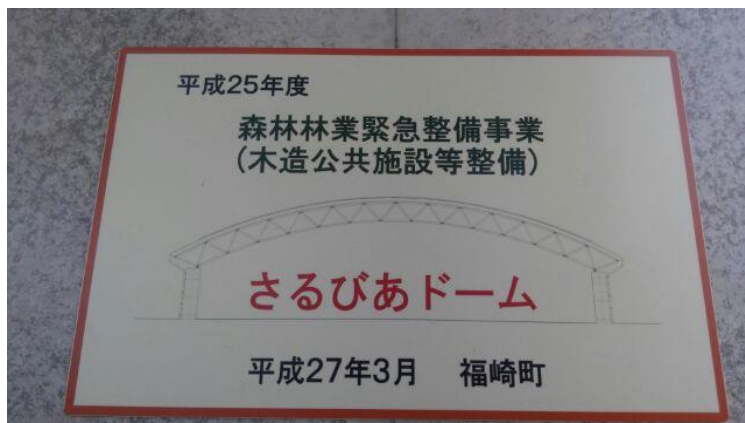


第2回「日本一どでカボチャ兵庫県大会」in 福崎町さるびあドームに参加して
令和元年9月8日（日）
甲田記

1 さるびあドームについて



全天候型のイベント会場として左のような事業で建設された施設。

左下写真に説明がある通り、地元産の桧材を使用して屋根を支えるトラス構造材として1、744本が使われ

ている。

地面は細かな粒子の土に覆われていて、ゲートボールのような球技をするのにも差支えない。ドーム周囲には十分な駐車スペースが用意されていて、全く羨ましい限りの施設である。



左写真は天井を支えるトラス構造を示す。



ドーム内部は以下の写真に示すように広々とした空間が確保されている。床面積は2,483平方メートルある。



2 旧車運転同好会による展示とパレード

ジャンボカボチャ品評会を彩るイベントとしてBMWのIsetto という車やミゼット、スバル、パブリカ、ホンダのサイドカーなど昔懐かしい車が7台展示されていて、更に、近隣自治体のキャラクターが登場して会場に色彩を添えるという心憎い配慮がされていた。



ホンダのサイドカー



スバル



トヨタのパブリカ



運転席の前方が開く珍しい
設計のBMW（1955年式）

3 ジャンボカボチャ品評

会
日



主催はNPO法人播磨田舎くらしの会で、
本一を決める全国大会を主催する団体の下部組織と

しての役割を担っている。この大会で優勝すると全国大会出場権が与えられ、栄えある日本一になるとアメリカ西部大会に招待されると言うもの。ちなみに、昨年の日本一は412kg、アメリカは984kg、兵庫県一は255kgであったと言う。

のと
6
上
計



大きなカボチャの移動はどのような手段で行われるか、疑問に思っていたが、実際の作業を見ると何のことはない、人手が簡便であるということ。0kgぐらいまでなら、数人の手で転がしたり、持ち上げたりして移動している。量も通常の台秤を使用して、いとも簡単に行っている。



重
オ
真
で、
げ、
量



量級になると農協のフォークリフトの出番で、写のように風呂敷で包んでフォークリフトで吊上り電子式台秤に載せて計する。

下の写真は電子式台秤を示す。コードで左側の表示版に繋がれている。



さて、気になる計量結果であるが、以下の通りであった。

ず
作
写
自
P



らりと並んだ出品は全部で58個。真中央の法被姿は信作を前にするN O本田理事長。



協議会からの出品は兵庫県民ではないため参考出品扱いであったが、28kgと言う認定書を貰いました。出品中40位と言うことで、芳しい結果では無かったです。しかし、左写真に示すように形は均整の取れた美しい姿である。



ジャンボカボチャの大きさを実感するには子供を並べて見るのが良いだろう。左の写真2枚をご覧ください。その大きさが実感出来ますね。



左は1位入賞カボチャとその生産者（中央の白い帽子の人）です。重量は212.5kgで、今大会唯一の200kg越えのカボチャです。ただし、形はいびつで、格好は良くありません。



左は3位入賞のカボチャ。重量は163.5kg。子供に比べ、その大きさが良く分かります。



左写真は手前から2位、優勝、3位のカボチャです。2位は184kgです。一見、優勝カボチャは小さく見えますが、しっかり重量はあるようです。色彩は手前が一番カボチャ

らしいです。



表彰式。

この後、優勝カボチャは旧車ミゼットに積まれて場内をパレードしました。

以上